

呼吸器内科

小河原光正

呼吸器内科は呼吸器悪性腫瘍（肺癌，胸膜中皮腫など）を専門として診療を行っており、呼吸器外科，放射線診断科，放射線治療科，臨床検査科と協同で肺癌の診断及び化学療法を含む集学的治療を行っている。また、気管支鏡診断に力を入れている。まれな転移を認めた貴重な症例の研究発表を行った。

また、国立病院機構共同研究、大阪大学呼吸器内科／大阪府立成人病センター、徳島大学呼吸器・膠原病内科、近畿中央胸部疾患センターなどから依頼された多施設共同臨床試験へも参加・協力した。

【2015年度 研究発表業績】

B-6

的場あゆみ、安藤性實、小河原光正、木村 剛、宮本 智、井上敦夫、栗山啓子、児玉良典、真能正幸：肺癌診断時に甲状腺及び乳癌転移を認めた一例。第103回日本肺癌学会関西支部会、大阪、2016年2月20日